

「現地を訪問して想うこと」

芳賀 千重 (1993・文)

岩手県コース参加

私は教員をしております。今では小学校に異動となりましたが、震災当時、中学校に勤務しており、生徒会を担当していました。

生徒会で何かできることはないかと考え、募金活動等を生徒達とやったのを覚えております。また、戸羽太市長の本を読んで感銘を受け、実際に岩手県に行って自分の目で見たり、感じたことを生徒達に伝えたいと思っていました。

ツアーに参加し、痛切に思ったことは復興が十分に進んでいないことです。陸前高田市のホテルの窓からは、何もなく殺風景な風景が広がるばかりでした。以前はたくさんの商店や住宅が並んでにぎわっていたという話を聞き、東日本大震災の悲惨さ、むごさを感じるばかりでした。それでもどこに行っても岩手県の方たちは明るく、前向きに生きていこうとしていると感じました。三陸鉄道に乗って、その当時の話を聞いたことも、とても貴重な体験でした。

これから、小学生に自分が感じたこと、見たことを話していきたいと思っています。

岩手県校友会の皆様、貴重な時間をありがとうございました、また事務局の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。